



2024年1月26日

各位

会社名 株式会社アイ・ピー・エス  
銘柄名 株式会社IPS  
代表者名 代表取締役 宮下 幸治  
(コード番号：4390 東証プライム市場)  
問合せ先 経営企画部次長 赤津 博康  
(TEL. 03-3549-7719)

### 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、2024年1月26日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応を決議いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 現状分析

当社は2018年の上場以降順調に業績を拡大させており、8%程度と認識される当社の株主資本コストに対して、ROEはこれを大きく上回る水準で推移しております。これは当社の高い利益率や早期の投資回収を目指す規律ある投資方針等によって実現していると分析しております。

一方、PBRは1倍を上回っていますが、ROEが直近数年30%に近い水準を維持しているにも関わらずPBRは逆に低下傾向にあり、PERは直近では11倍程度と成長企業の一般的な水準を下回っていると認識しております。

業績が拡大するとともに株式市場が求める資本収益性を高いレベルで達成していながら、株価指標が低迷しているのは、当社の成長戦略や持続的な成長可能性に関して株主や投資家の理解を十分に得られていない点などが影響していると評価しております。

|            | 2019/3期<br>(実績) | 2020/3期<br>(実績) | 2021/3期<br>(実績) | 2022/3期<br>(実績) | 2023/3期<br>(実績) | 2024/3期<br>(見通し) |
|------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|------------------|
| 売上高(百万円)   | 5,780           | 6,508           | 9,515           | 10,728          | 12,346          | 14,000           |
| 営業利益(百万円)  | 945             | 1,070           | 1,921           | 2,456           | 3,311           | 3,800            |
| 営業利益率(%)   | 16.3%           | 16.4%           | 20.2%           | 22.9%           | 26.8%           | 27.1%            |
| 当期純利益(百万円) | 588             | 645             | 1,487           | 1,888           | 2,292           | 2,200            |
| ROE(%)     | 26.9%           | 18.4%           | 32.4%           | 29.9%           | 27.5%           | -                |
| PBR(倍)     | 5.6             | 2.6             | 6.6             | 3.6             | 3.2             | -                |
| PER(倍)     | 28.3            | 15.5            | 23.7            | 13.7            | 13.2            | -                |
| 一株当たり配当額   | -               | -               | 10円             | 25円             | 35円             | -                |
| 配当性向       | -               | -               | 8.3%            | 16.4%           | 19.0%           | -                |

## 2. 対応方針

### ①資本収益性の維持

引き続き連結ベースで高い利益率や大型投資での早期回収を達成することで、現在の高い資本収益性の維持を目指します。指標としてはROE20%以上を目標とします。

### ②継続的な株主還元の実施

当社は、株主への還元につきましては、将来の事業展開と財務体質の強化のために必要な内部留保の確保を図りながら、達成した業績を反映した適切な配当を、継続して実施していくことを基本方針としております。この基本方針に基づき、2021年3月期の初めての配当での一株10円から25円、35円と増配をしております。

今後は、現在の配当性向約20%は最低水準として維持し、利益成長、成長投資、財務健全性のバランスを保ちながら、将来的により高い配当性向を目指します。

### ③中期経営計画の策定及び開示

中期経営計画で定量的な計画と事業戦略を示すことで、株主や投資家が当社の持続的な成長に対する理解を深めることが可能になると考えております。今期の本決算発表時の開示を計画しています。

### ④IR活動の更なる充実

- 積極的な情報開示と能動的な対話による発信を強化するなど、更なるIR活動を推進いたします。具体的には、1on1ミーティングの回数増、スモールミーティングや個人投資家向け説明会の開催検討、開示資料の充実、外部リサーチレポートの活用等によって情報発信を強化いたします。
- 投資家との対話によって得られた意見や要望は、社内において然るべくフィードバックを実施し、企業経営や事業運営等に役立ててまいります。

以上